

彩景

さいけい

SAIKKEI

本表現は、障子の一部を抜き取り、色彩の有無によって変化をもたせた表現による方法である。

障子の一部をガラス面で覆うことにより、一部が欠けた状態を作りだすことによって、見る人に色彩情報を与える。まばらに抜き取られた画面は不完全に映し出され、興味を引き立たせる。

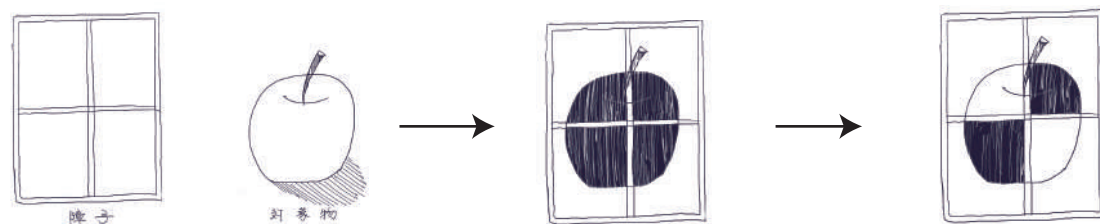
家屋の一部を改良し、小スペースを設けることによって、撮影スポットのような観光地を想定している。

00. 障子がもたらす効果

障子は一面に張られた紙を通し、見る人にシルエットな効果を持たせた芸術的な画面を描写する。照明、陽の光を基盤に、人間、植物、生物等あらゆる要素が障子に映し出されることによって、芸術的に表現することが可能である。

映し出されるシルエットの画面には、見る人に与える情報量が限られる。見る人はその動作や形等を頼りに鑑賞する。

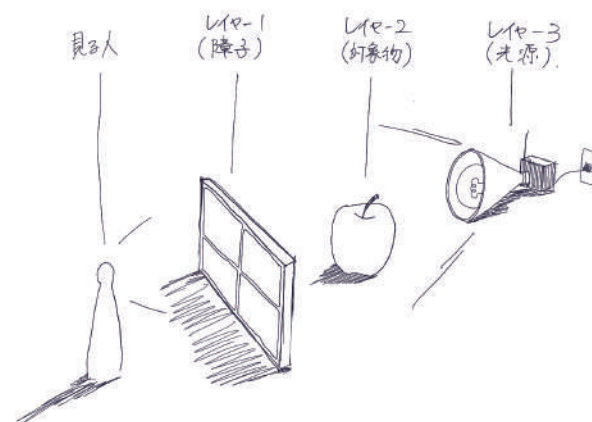
01. ダイアグラム



障子と対象物をそれぞれ見た図。素の姿を見て取れる。

対象物が光を遮り、遮られた部分が障子を介して黒く表現される。

障子の紙を一部抜き取り、対象物の一部と背景を映し出す。



各要素をレイヤーに例える。見る人に影響を与える印象変化は、レイヤー1、レイヤー2を変えることにより、変化が生まれる。

レイヤー2が静物ではなく、動物や植物などの動的な要素であれば、見る人に映し出される印象に動きがつく。レイヤー1（障子）がもつ紙を抜き取りを行うと、抜かれた部分は、見る人に色彩情報が生まれ、より鮮明なようすとらえることができる。このようなトリミングされた不完全な画面が見る人に興味を引き立たせる。

02. 「抜き取り」が描く画面

